

林業福島

No. **628**

題字 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長 齋藤卓夫



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

12

2016

監 修 ■ 福島県農林水産部
表紙の写真 ■ 大きく育ててね



森林公園における大型獣対策 について

公益財団法人 ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団

理事長 木村吉幸

当財団が指定管理者として管理・運営させていただく「ふくしま県民の森フォレストパークあだたら（大玉村）」では、近年、運動広場や県道周辺で、野生のイノシシの目撃例や食痕（食べあと）が目立ちます。平成二六年からは、ツキノワグマも目撃されています。元々両種とも周辺部には生息していましたが、日中や目立つ場所での記録はほとんどありませんでした。平成二三年三月の東日本大震災と原発事故以降、福島県内の森林に立ち入る人の数が激減し、その結果として、今まで奥山や藪などに生息する大型獣が、人や人の活動場所に出没するようになったと言われます。

不特定多数の方がキャンプや野外学習という形で活動されるフォレストパークあだたらでは、大型獣と人との接触は、安全管理上避けなければなりません。「森林（もり）と人との共生」を目指している当施設では、現在、次の体制で大型獣との共生を図っています。

(1) 大型獣を知ること…専門家に施設周辺の生息状況調査を依頼し、その結果を対応策に活かしています。

(2) 大型獣と人との生活圏を分けること…福島県や森林ボランティア団体等と連携し、林床を明るくするとともに、大型獣の食物を取り除くなどの森林整備を行っています。

(3) 大型獣の侵入を防ぐこと…オートキャンプ場の周囲に電気柵を設置し、大型獣の侵入を防止しています。

(4) 利用される方に大型獣との接し方を理解していただくこと…キャンプ場利用者や研修等に訪れる学校の生徒さんなどに、施設としての対応と大型獣への対処方法などをお伝えして、理解していただくことを目指しています。

平成二六年春からの対応の結果、一定の成果が見られる一方で、イノシシの活動には活発になる傾向があり、この秋も県道に沿った草地などの地面で、餌を探した掘り跡が見受けられます。最近では、福島市の運動公園周辺でもツキノワグマが目撃されていますが、今後山菜採りやキノコ獲り等で山野に入るならば、大型獣と遭遇する機会が増えることでしょう。

当財団では、県内の森林公園をはじめとする公共施設の大型獣対策にお役にたてるよう、フォレストパークあだたらで実践した対策結果のデータを集積し、「森林と人との共生」に向けて活動を進めてゆく所存です。

《も く じ》

とびら	
森林公園における大型獣対策について	
ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団	
理事長 木村吉幸	1
第41回福島県林業祭	2～3
平成28年度福島県林業コンクール	4
第13回ふくしま森林・林業写真コンクール	4
第67回福島県学校関係緑化コンクール	5
第19回福島県森林組合連合会良質材展示会	5

平成28年度福島県きのこ品評会	6
第14回うつくしま育樹祭	7
林業女子会設立準備会イベント	8
普及指導員通信	9
森連だより	10
「自然に親しむ」	11
木材市況・ふくしま東西南北	12
はなしのひろば・お知らせコーナー	13

第41回福島県林業祭 大勢のお客さんで賑わう

福島県林業祭実行委員会



▲森のコンサート
鹿狼アルプホルン倶楽部



森のコンサート▶
STEELBAND MISOLA



農林産物展示
販売コーナー

◀クラフト体験

第41回林業祭は、10月22日、23日の2日間、郡山市の林業研究センターで開催しました。



▲開会式 テープカット



今年の福島県林業祭（林業復興応援イベント）は、二日間とも秋晴れの好天に恵まれ、約六、〇〇〇名の方に御来場いただきました。

二二日十時より、本館前において開会式を行いました。小野和彦福島県林業祭実行委員会委員長のあいさつに続いて、遊佐久男県議会農林水産委員会委員長らがテープカットを行い、鹿狼アルプホルン倶楽部のファンファーレが花を添えました。

本館前では、開会式に引き続き鹿狼アルプホルン倶楽部の「森のコンサート」が行われ、二三日にはSTEEL BAND MISOLAのスチールドラムの響きが観客のみなさんを魅了していました。県産材の家をPRする「模擬上棟式」は、二日間で四回行われ、餅まきを体験する楽しい声が響き渡りました。また、木の枝クラフト、丸太切り体験、いす作り、竹細工体験などの木工工作コーナーや飲食コーナーも設けられました。「スタンプラリー」では、各会場を巡った方がくじを引いて、その結果に一喜一憂していました。木造応急仮設ハウスの組立デモンストレーションもあり、予想外の組立速さと中の快適さに皆さん驚いていました。二日目最後の「森のオークション」では、チェンソーアート作品をはじめ、県内各地より持ち寄った品を、次々と元気なかけ声で競り落とされていきました。なお、落札代金は、後日、緑の募金に寄付しました。

本館前通路では、平成三〇年開催の全国植樹祭PRやライシーホワイトとのお米計量ゲーム、マルシェふくしま号の試食・販売、農林産物や六次化商品、木工品、漆器等の展示・販売が行われました。また、昔懐かしい竹馬やぼつくり体験、積み木のプールが設けられ、子どもたちが喜んで体験していました。

展示館西側広場では、「チェーンソーアートショー」が二回行われ、丸太から生み出される動物たちの大胆で繊細な



▲丸太切りクラフト体験



▲ツリークライミング®体験



森の昔話▶

別表1 福島県チェーンソー選手権結果

	総合	種目別		
		合わせ玉伐り	精密玉伐り	玉伐りスピードトライアル
1位	秋山 健人 (東白川郡森林組合)	目黒 和男 (相馬地方森林組合)	渡會 礁 (いわき市森林組合)	秋山 健人 (東白川郡森林組合)
2位	渡會 礁 (いわき市森林組合)	大井川光良 (いわき市森林組合)	秋山 健人 (東白川郡森林組合)	圓谷 隆夫 (ふくしま中央森林組合石川事務所)
3位	四釜 誠 (千葉製材所)	四釜 誠 (千葉製材所) 渡會 礁 (いわき市森林組合)	中村 滝一 (常磐林業株式会社)	本郷 剛臣 (ふくしま中央森林組合石川事務所)



▲模擬上棟式

造形に観客が見入っていました。また、「平成二八年度福島県チェーンソー選手権」も開催され、二一名が、安全はもちろん、速さや正確さを競い合いました。(成績については、別表1のとおりです。)

北門からの通路脇では、ツリークライミング®体験も今回初めて行いました。

研修本館では、震災からの様々な復興活動や調査結果、木材やきのこの安全・安心の取り組み、松ぼっくり工作、木のおもちやワークショップ、炭の切りそろえ体験のほか、林業研究センターの研究成果ポスター発表が行われました。また、「森の昔話」を初めて行つたほか、「きのこ品評会」への出品物販売も行われ、大変好評でした。

なお、きのこ振興センター会議室では、森林の仕事ミニガイドランスも開催されました。

研修本館前では、県産きのこ、木工品、農産物、林業機械、ペレットストーブなどの展示販売のコーナーを設けました。

今回は、天栄中の生徒さんや木めぐり探検ツアーの参加者も来場していただきました。

なお、二二日には、「平成二八年度福島県林業コンクール等表彰式」をホテルバーデン吉祥の間で開催し、林業コンクール、きのこ品評会等、六八件が表彰されました。(受賞内容は、各コンクールの紹介ページを参照ください。)

また、森林・林業フォーラムを「山の日」施行記念とし、「ふくしまの森林の魅力」と題し、(公社)日本山岳協会副会長兼専務理事の尾形好雄氏による講演をホテルバーデン吉祥の間で開催し、約一〇〇名の方々が熱心に聴講していました。

出展関係者、出演者など皆様の御協力により、二日間支障なく実施することができました。今後も森林・林業関係者が一体となり、森林・林業・木材産業の復興、活性化に向け活動していくことが大切だと感じた二日間でした。

平成二八年度福島県林業コンクール

福島県林業振興課

福島県林業コンクールは、林業技術の向上と林業経営の改善を図り、

本県林業の発展を推進することを目的として開催しており、東日本大震災後一時中断していましたが、森林・林業の復興に森林整備は欠かせないことから、平成二七年度より関係者の御協力により再開しています。

各農林事務所より九件の応募があり、林業振興課職員による現地審査の後、十月十四日に森林・林業関係団体等の代表者からなる審査委員会を開催し、各賞を決定しました。

応募数が震災前の約半分となりましたが、林業経営部門に平成十七年度以来十年ぶりに応募があるなど、震災直後の森林整備そのものが困難であった状況から五年以上が経過し、環境が改善されてきていると実感できる内容となりました。

森林施業の内容が従来の保育重視から、木材生産、更新作業に重点が移ってきていることから、今後、林業コンクールについても時代の要請に応えながら林業経営者の方々の奮起材料となるよう、これからも開催してまいります。

部門別表彰者

1 山林苗畑部門

福島県知事賞 長嶺 忠和

2 造林部門

福島県知事賞 吉田 哲雄

福島県農林種苗農業協同組合長賞 宇津熊十八戸愛林組合

3 間伐部門

福島県知事賞 緑川 平隆

福島県木材協同組合連合会長賞 小沢共有林

福島県森林組合連合会代表理事 会長賞 吉田 陽一

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会会長賞 金澤 勝

農林中央金庫福島支店長賞 大字磐梯土地組合

4 林業経営部門

福島県知事賞

福島県林業経営者協会会長賞 月田禮次郎

第十三回

ぶくしま森林・林業写真コンクール

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会

当協会では、森林整備の推進と森林・林業の振興に資するため、毎年度森林・林業写真コンクールを開催しています。

本年度は、応募人数は四六人、応募作品数は八九点と多数の応募があり、十月五日、県写真連盟高橋様を審査委員長に厳正に審査し、入賞作品を決定しました。

入賞作品については、第四一回福島県林業祭の一環として、郡山市「ホテルバーデン」で表彰式が開催されるとともに、林業祭開催期間中会場に展示しました。

今後は、「林業福島」の表紙に適宜掲載してまいります。



第41回福島県林業祭で展示

(最優秀賞、優秀賞及び特別賞の入賞者)

賞の種類		入賞者		
区分	賞名	市町村	氏名	題名
最優秀賞	福島県知事賞	国見町	佐藤 尚久	運ばれる木材
優秀賞	公益社団法人 福島県森林・林業・緑化 協会会長賞	いわき市	長谷川 錦治	大きく育ってね
		須賀川市	関根 松美	松食い虫防除の 薬剤散布
		郡山市	佐藤 源策	田村スギの故郷
特別賞	一般財団法人 福島県林業会館理事長賞	鏡石町	熊田 行雄	職人の技

福島県学校関係緑化コンクール

福島県森林保全課

児童・生徒の緑化活動及び学校における環境教育の一層の推進を図るために、福島県及び福島県教育委員会の共催により毎年開催しています。当コンクールは学校林等活動の部と学校環境緑化の部があり、それぞれ各地域の農林事務所及び教育事務所からの推薦を受けて応募された学校について、現地調査の上、受賞校を決定しています。

今年には十二件(学校林等活動の部二件、学校環境緑化の部十件)の応募があり、最優秀賞(県知事賞)は次の学校が受賞しました。

(1) 学校林等活動の部
 ・会津若松市立湊小学校

「猪苗代湖の水質調査」をテーマに、水源地の学校林の整備を通して、森林の有する水源かん養や水質浄化等の機能によって、猪苗代湖に綺麗な水が流れる森林と水の関係(水の循環)について学んでいます。

(2) 学校環境緑化の部
 ・磐梯町立磐梯第一小学校
 学校全体が一丸となって学校花



緑とふれあう児童
(磐梯第一小学校)



学校林を整備している児童
(湊小学校)

壇づくり、校庭の樹木の手入れ等を行うとともに、森林環境教育では実際に緑とふれあうことで、森林の持つ公益的機能が自分たちの生活と密接に関わることを学んでいます。

良質材展示会

去る十月十七日、いわき木材流通センター(平成八年開設)において「第十九回福島県森林組合連合会良質材展示会」を開催しました。

この行事は、林野庁、関東森林管理局、福島県、福島県木材協同組合連合会からのご支援をいただき、毎年当センターの記念市と同時に開催しています。育林技術や造材技術の各項目ごとの評価審査(表1)に基づいて各賞を決定し、生産技術の改善向上や木材品質の向上、森林組合共販材の優秀性を広く紹介すること、また木材需給の安定に寄与することを目的に開催回数を重ねてまいりました。

展示会を開催し続けてこられましたのも、出荷者、買方者のご協力並びに関係機関のご指導ご協力があったること、この場をお借りし改めて感謝申し上げます。

森林組合系統の一木材市場として消費者の皆様が安心して福島県産材を安心して求めたいだけ、取り扱い体制の強化に全力で努めてまいりますので、今後も当センターをご利用くださいますようお願いいたします。



審査結果

賞名	受賞者名	住所	樹種	長級(m)	径級(cm)
林野庁長官賞	石嶋商事 石嶋美智男	田村市	スギ	6.00	18-20
福島県知事賞	磐城造林株式会社	いわき市	スギ	5.00	46-52
関東森林管理局長賞	有限会社豊田林業	いわき市	スギ	3.00	18-20
県木材協同組合連合会長賞	園部 明	いわき市	スギ	4.00	24-32
県木材協同組合連合会長賞	有限会社阿部林業	いわき市	スギ	4.00	40-44
県森林組合連合会長賞	有限会社平子商店	いわき市	スギ	3.65	42-46
県森林組合連合会長賞	有限会社鈴木商事	古殿町	スギ	4.00	40
県森林組合連合会長賞	水野悦男	古殿町	スギ	3.00	18-20

(表1)

審査項目	審査対象
育林技術	節の有無・大小
	年齢幅
	材の曲がり
	材の丸み・偏心
造材技術	材の光沢・色彩
	枝はらい
	材の切断面
総合	延寸
	商品価値・市場性

福島県森林組合連合会

平成二八年度福島県きのこ品評会

公益社団法人 福島県森林・林業・緑化協会 きのこ振興センター

澄み渡る秋空のもとで、十月二二日(土)、二三日(日)の両日、第四一回福島県林業祭の開催に併せ、「平成二八年度福島県きのこまつり」を郡山市にある福島県林業研究センターにて開催しました。

当きのこまつりは、震災復興と県産きのこの振興を目的に開催されています。東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所事故により、三年間休止を余儀なくされましたが、平成二六年に再開し、今回で三回目の開催を迎えることができました。

きのこまつりにおいて、特に注目されているのが、「福島県きのこ品評会」の開催です。出品数は年々回復傾向にあり、今年は、生しいたけ九五点、乾燥しいたけ十六点、なめこ・ひらたけ三七点など総数一五三



(農林水産大臣賞)

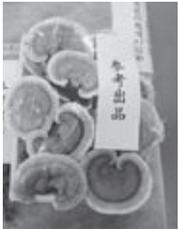
点の出品となりまし
た。十月二
一日(金)に
行われた審
査会では、
最優秀賞に
は農林水産

大臣賞が授与されたほか、林野庁長官賞をはじめとした数々の入賞作品計二四点が選ばれ、翌日、表彰式が行われました。

今年の品評会には、参考出品としてマンネンタケが出品され、来場された方も珍しいきのこのため、大変興味深そうにご覧になっていました。

品評会に合わせて良質なきのこを発生させることは、技術的に難しいことですが、生産者の方々のご努力・ご協力のもと、今年も品質の良いきのこが数多く出品されました。出品された物は、十月二二、二三日の両日に展示・販売しましたが、販売した出品物は三〇分かららずに完売するなど、大盛況のうちに幕を閉じることができました。

風評被害などきのこ産業を取り巻く環境はまだ万全ではありませんが、毎年品評会を楽しみに来場される方も多いので、今後も品評会を開催することで県産きのこの普及・振興に努めてまいります。



(出品されたマンネンタケ)

平成28年度 きのこ品評会出品数内訳

出品数	生しいたけ		乾しいたけ	なめこ・ひらたけ	参考出品(点)
	原木栽培部門	菌床栽培部門			
	21	74	16	37	5



(展示会の様子)

《受賞者名簿》

●生しいたけの部

農林水産大臣賞(菌床栽培部門) 大野 一宏(天栄村)
林野庁長官賞(原木栽培部門) 上石佳代子(郡山市)

○原木栽培部門

福島県知事賞 古川 礼子(郡山市)
福島民報社代表取締役社長賞 青木 秀之(昭和村)
(公社)福島県森林・林業・緑化協会会長賞

全国農業協同組合連合会福島県本部長賞 古川 安元(郡山市)

福島県きのこ振興協議会会長賞 横田 富夫(郡山市)
國分 進(本宮市)

○菌床栽培部門

福島県知事賞 農事組合法人愛椎ファミリー(郡山市)
福島民友新聞社代表取締役社長賞

富士ソフト企画株式会社社会津営業所(西会津町)
(公社)福島県森林・林業・緑化協会会長賞

福島県農業協同組合中央会会長賞 佐久間利広(矢吹町)
全国農業協同組合連合会福島県本部長賞 円谷 康夫(泉崎村)

高久 一志(西会津町)
福島県きのこ振興協議会会長賞 泉 景子(南相馬市)

●乾しいたけの部

林野庁長官賞(乾しいたけの部) 福田 正三(石川町)
福島県知事賞 渡部 利美(西会津町)
全国椎茸商業協同組合連合会理事長賞

佐藤 栄喜(磐梯町)
(公社)福島県森林・林業・緑化協会会長賞

岩橋 盛信(喜多方市)
福島県きのこ振興協議会会長賞 山田 耕平(福島市)

●なめこ・ひらたけの部

林野庁長官賞(なめこ・ひらたけの部)
有限会社鈴木農園(郡山市)

福島県知事賞 桐の里産業株式会社
代表取締役 矢澤 源成(三島町)

日本特用林産振興会会長賞
有限会社加茂農産(いわき市)

(公社)福島県森林・林業・緑化協会会長賞
武藤 長衛(二本松市)

福島県森林組合連合会代表理事会長賞
円谷 康夫(泉崎村)

福島県きのこ振興協議会会長賞 佐藤 良市(下郷町)

敬称略

第十四回うつくしま育樹祭

第六九回全国植樹祭連携イベント

うつくしま育樹祭実行委員会

日時：平成二八年十一月十二日(土)
場所：白河市東風の台運動公園

うつくしま育樹祭は、県民の皆さんに緑や森林とふれあいながら、森林を守り育てることを知り、感じていただくことを目的として、森林を手入れする育樹作業や苗木を植栽する植樹作業、さらには参加者同士交流を深めていただく様々なイベントを実施しています。

今回の

育樹祭は、平成三〇年全国植樹祭の福島県開催を受けて、全国植樹祭PRテントの設置をするなど、連携イベントとしてPRも兼ねて実施しました。



参加者全員で記念撮影



リレー植樹のきずなと森林

また、鳥取県の美鳥(みどり)の大使(鳥取市立神戸小学校、湯梨浜町立羽合小学校の緑の少年団の皆さん)から、「うほくとつとり・苗木の里帰りプロジェクト」の一環として、本県で採取されたクヌギの種子から鳥取県小学生等が育てた苗木を寄贈していただき、来賓と地元緑の少年団(小野田小学校、釜子小学校の緑の少年団)と一緒に式典の中で記念植樹を行いました。

開会式は渡邊裕樹実行委員長の開会のことば、大会会長を務める内堀雅雄福島県知事(代読：畠利行副知事)のあいさつ、森林(もり)のきずなづくり植樹リレー、苗木のホームステイ「スタートセレモニー」、苗木(クヌギ)の寄贈セレモニー、鈴木和夫白河市長の来賓祝辞、記念植樹、記念撮影の順に行いました。

参加者は約三六〇人にのぼり、参加者の皆さんに式典終了後、アカマツの大径木を実際に倒すところを見

学していただきました。ふくしま・グリーンフォレストの会のスタツフの方がチェンソーを使って切り込むと「ドスンッ!!」と大きな音を立てて大木が一瞬にして倒れました。その伐倒の迫力に皆「おおっ」と感嘆の声をあげていました。



育樹活動



苗木の寄贈セレモニー

午前の活動は、ふくしま・グリーンフォレストの会や福島県もりの案内人の会の森林ボランティアの皆さんの協力の下、それぞれの班に分かれて育樹作業に汗を流しました。

育樹作業では、森林保全のための広葉樹の抜き伐り作業(こども班)や、木材生産を目的としたヒノキ林の除間伐作業(おとな班)を行いました。

会場(緑地広場)には全国植樹祭PRテントを設け、参加者の皆さんに、より全国植樹祭について知っていただくよう全国植樹祭関連のPRパネル等の展示はもちろんのこと、東日本震災の津波で被害を受けた福島県内の太平洋沿岸部の海岸防災林についてのパネルも併せて設置、展示しました。その他にも、植樹リレーのコーナーを設け、参加者に思いのメッセージをそれぞれの短冊

冊に書いて専用ポストに投函していただきました。

午後の活動は、クリスマスツリーオブジェづくりや自然観察、白河高原薪の会による薪割り体験、会津若松市で鋸鍛冶を営んでいる五十嵐征一氏による鋸(のこぎり)目立て実演や午前中の作業で切り出したヒノキを使った丸太切り体験などの交流イベントを実施しました。どのプログラムも皆さん一生懸命、熱心に取り組まれました。



薪割り体験



クリスマスツリーオブジェづくり

閉会式は甲斐敬市郎実行副委員長があいさつし、閉幕しました。閉会式終了後、地元白河産の新米コシヒカリと緑化木としてマテバシイの苗木を参加者全員に配布し、受け取った参加者はそれぞれの帰路に着きました。

これからは平成三〇年の全国植樹祭に向けて、福島県が震災・原発事故から復興した姿を全国へ発信できるように、こうした森林づくり活動をより一層進めてまいります。

最後に、第十四回うつくしま育樹祭にご参加・ご協力していただいた皆さんに御礼を申し上げます。ありがとうございました。

秋の森散策と 森の香りのアロマテラピー

福島県林業女子会(仮称)設立準備会

十月二十九日(土)、大玉村「フォレストパークあだたら」において、「秋の森散策と森の香りのアロマテラピー」を開催しました。このイベントは、森や木・林業などに興味・関心をお持ちの女性に向けて、身近な自然と触れ合いながら、女性同士のネットワーキングづくりを図ることを目的として開催したもので、県内の林業関係者や大学生、一般の方など、二八名が参加しました。

午前中は、秋の森散策と題して、福島県もりの案内人の会より講師を迎え、フォレストパークあだたら内



森林散策の様子(1班)



森の朗読会(2班)

のフィールドを散策しました。冷たい風が吹くあいにくのお天気でしたが、案内人のお二人から、樹木や植物・動物のこと、また森林整備や林業のことについてのお話を聞いていただきました。楽しく散策することができました。

午後のワークショップは、(株)十八日(じゅうはちにち)より講師を迎え、クロモジのネックレス作りとルームスプレー作りを行いました。はじめに、(株)十八日で取り組んでいる南会津でのクロモジのアロマオイルづくりについて説明があり、

地元の方々と協力しながらクロモジを集め、オイルを採集し、さらにクロモジの植林も行っての取り組みを伝えていただきました。続いて、その南会津のク



森の香りのアロマテラピーの様子



完成したルームスプレーとペンダント

ロモジの枝を使ったネックレス作りを行い、参加者の皆さんは、枝の形やビーズの組合せに工夫を凝らしながら、楽しく制作していました。

その後、国産の森の香りのアロマオイル(ヒノキや杉、クロモジ、ハッカ、柚子など)を、好みの比率にブレンドしてのルームスプレー作りを行いました。

いずれの講座も、森や木をよく知り、仕事として熱心に取り組まれている講師の方々に盛り上げていただき、とても楽しく有意義なイベントとなりました。参加者からは、「森の散策では勉強でき、楽しい時間となりました。アロマテラピーも自作の香りができリラックス効果最高です!」との感想が寄せられ、森林の仕組みを知り、より身近に森林の大切さや恵みを実感することができたことと思います。



香りに癒されて楽しい時間となりました



皆さんと一緒に記念撮影!

これからも、女性の方が森林・林業に興味を持っていただく楽しいイベントを企画し、福島県林業女子会が設立できるよう準備を進めてまいります。

森林整備の低コスト化に向けた取組について

福島県いわき農林事務所
主査 豊田 広幸

利用期を迎える森林が増えるなか、森林の多面的機能の持続的な発揮に向けて、主伐後の再造林や保育等をどのように進めていくか、森林整備の低コスト化を通じて森林所有者の負担軽減を図り、採算性の向上による地域に合った森林の循環利用を確立していくことが求められています。

そこで、当地域における森林整備の低コスト化に向けた取り組み事例を紹介します。

○一貫作業による低コスト造林について

いわき市森林組合では、森林所有者の育林意欲の低下から平成27年より独自の取組として、伐採・搬出・地拵えを高性能林業機械で一貫作業を行うことにより、植栽作業までの費用がどの程度低減できるか実証しています。今年度も現場条件や使用機械一貫作業のパターンを変えてデータの集積により低コスト造林の実現を目指しています。



コンテナ苗の植栽（11/14）

○コンテナ苗植栽の現地検討会について

磐城森林管理署では、再造林及び初期保育のコスト削減が必要として、伐採から植栽までの一貫作業に加え、コンテナ苗を活用した秋植えによる、下刈り回数の減、低密度造林による今後の維持管理費用を低減していくため、林業事業体等を交えて現地検討会を行っています。当所職員も当該地にてコンテナ苗植栽器具のディブルを使用して植栽体験し施工性等を確認しました。

○関係者による意見交換会等について

当所では、関係者による低コスト化への取組の連携を図るため、森林整備事業実施者による意見交換会、いわき地方ふくしま森林再生事業連絡調整会議による各発注機関の事業規模・スケジュールの情報共有、放射性物質対策工の現地検討会による施工期間短縮等の検討を行っています。



いわき管内における放射性物質対策工の現地検討会（6/24）



いわき地方ふくしま森林再生事業連絡調整会議（9/7）

今後も、森林組合等による低コストに向けた取り組みへの支援、先駆的な取り組みをしている森林管理署等との情報交換を行い、森林所有者の負担が少しでも軽減できるよう、森林組合等の第三者と長期管理協定を結ぶことで、森林経営計画策定による集約化施策が進むよう取り組んでいきたいと思ひます。

森連だより

三島町に 木材市場開設



開設記念式典

福島県森林組合連合会が運営
しています。

福島県森林組合連合会が管理し、
合林業振興協議会が管理し、
組合でつくる会津地方森林組
合津北部、西会津町の各森林

会津北部、西会津町の各森林
組合でつくる会津地方森林組
合津北部、西会津町の各森林

会津若松地方、
三島町で市場を開設しまし
た。市場は、会津若松地方、

会津若松市強清水地
区の会津共販所では、五、十
一月に月一回の市を行ってお
り、十月と十一月は試験的に

三島町で市場を開設しまし
た。市場は、会津若松地方、
会津若松市強清水地区の会津
共販所では、五、十一月に月
一回の市を行っており、十月
と十一月は試験的に三島町で

市場を開設しました。市場は、
会津若松市強清水地区の会津
共販所では、五、十一月に月
一回の市を行っており、十月
と十一月は試験的に三島町で



当会では十月十一日と十一月十日
に三島町松原において木材の集積、
販売拠点となる「会津共販三島サテ
ライト市場」を開設しました。

サテライト市場・土場の開

設は、本会販売事業計画の一

つとして位置づけており、木

材取扱増量はもとより、原木

供給体制を構築するために重

要であると考えます。

現在、会津若松市強清水地

区の会津共販所では、五、十

一月に月一回の市を行って

おり、十月と十一月は試験的に

三島町で市場を開設しまし

た。市場は、会津若松地方、

会津若松市強清水地区の会津

共販所では、五、十一月に月

一回の市を行っており、十月

と十一月は試験的に三島町で

市場を開設しました。市場は、

十月十一日は会津共販開設
記念式典を行い、会津若松地
方森林組合の武田春男代表理
事組合長が「会津の木材を求
める動きは広がっている。今
後も協力をお願いしたい。」
と挨拶し、伊藤純一県会津農
林事務所長、樋口一雄会津森
林管理署長、矢沢源成三島町
長が祝辞を述べ開札となりま
した。

大型木製パネル「CLT」

（直交集成板）や木質バイオ

マスへの対応も念頭に置き、

取り扱うのはスギやカラマツ

などで、一度の市場で三〇〇

〜五〇〇立方メートル程度の木材売

買を見込んでいます。

三島市場を開設することで

従来よりも周辺町村の木材を

集め、ふくしま森林再生事業

等で木材出荷が活発化する

中、市場を新設することで、

建築材や燃料用チップなどと

して利用する木材の安定的な

供給を目指すこととしてお

り、地元木材の集積や運送費

の削減、運送時間の短縮など

の効果による奥会津地方の林

業活性化を期待しています。



会津共販三島サテライト市場

「自然に親しむ」

福島県の巨樹・名木 | 21 |

長床の大イチョウ

樹木医 鈴木俊行



があることで有名である。本樹は長床の前に生育し、境内はスギやケヤキの大木が生育する社叢となっている。

本樹が植栽された由来等は明らかでないが、新宮熊野神社は、平安時代後期の天喜三年（一〇五五年）前九年の役の際に源頼義が戦勝祈願のため現在の会津若松市に勧請したのが始まりであるといわれ、その後、寛治三年（一〇八九年）後三年の役の時に頼義の子・義家が現在の地に熊野新宮社を遷座・造営したといわれている。現在の神社は、本宮・新宮・那智の熊野三

「長床の大イチョウ」は、喜多方市慶徳町新宮字熊野地内の新宮熊野神社境内に生育している。新宮熊野神社は、国の重要文化財に指定されている熊野神社長床と呼ばれる拝殿

山を祀っている。古来から日本の聖地のひとつとされた熊野三山を祭るこの神社は、修験道の修業の地でもあり、「長床」は拝殿として建てられた壮大な建物である。長床の前の

大イチョウは、樹齢六〇〇年とも八〇〇年とも言われている。また、大イチョウは昭和初め頃の台風で主幹上部が折れたが、折れる前は遠く会津若松市内からもその雄姿が望めたといわれ、会津盆地の象徴的な存在であったに違いない。

イチョウは、イチョウ科イチョウ属に属する裸子植物で学名は *Ginkgo biloba* である。イチョウは繁殖力が強く人為的に広く栽培・植樹されているが、起源は古く、一億五千万年前の恐竜時代（ジュラ紀）に全盛を迎え、その後の氷河期も中国で生き残り現在に至っているため「生きた化石」と呼ばれ、IUCN レッドリスト一九九八年版で絶滅危惧Ⅱ類に指定されている。また、イチョウは雌雄異株で、本樹は雄株で実はない。

本樹の樹形寸法は、樹高二七・五〇^{メートル}、幹周七・九〇^{メートル}、根元周一一・三〇^{メートル}の巨樹で、主幹が数本寄り添うような樹皮の凹凸があり、地上をほうような太い根張りが見事である。本樹は、社叢の一本として県緑



の文化財に昭和五八年二月十七日に登録されている。

枝張りは、東一〇・五〇^{メートル}、西一〇・七〇^{メートル}、南九・五〇^{メートル}、北一三・二〇^{メートル}と均整のとれた樹形をしている。本樹の魅力はその巨木と樹形の美しさもさることながら、なんと言っても秋の黄葉である。あたり一面を黄金の絨毯に染め上げ、長床の前にドンと鎮座する姿は見事で威厳さえ感じる。また数年前、JR東日本 のデイスティネーションキャンペーンの際の一面に黄葉の雄姿が大々的に使われたことから、全国的に知れ渡り見学者も多く秋の黄葉の時期は大変な賑わいとなっている。

本樹は一時期樹勢の衰退が見られたが、十年前に土壌改良等の治療が行われ元気を取りもどしたようで、見事な樹形に訪れる人々を魅了している。

黄葉の最盛期は十一月中旬頃で、長床を一面の黄金の絨毯で敷きつめて妖艶に立つ姿をぜひ一度。感動し圧倒されるにちがいない。





素材の価格〈工場着価格〉(9月15日現在)

(単位: m当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	並	スギ	9 (8~10)	0	(0~0)		10 (9~10)	1	9 (8~10)	0	
		10~14	4.00	並	スギ	11 (11~11)	0	(0~0)		11 (11~12)	0	11 (11~12)	0
	中	14~22	3.00	並	スギ	13 (13~13)	0	10 (10~10)	0	12 (12~12)	0	12 (10~13)	0
			並	ヒノキ	13 (12~13)	1	(0~0)		15 (15~15)	0	14 (12~15)	0	
		6.00	並	スギ	16 (14~17)	1	10 (10~10)	0	16 (15~16)	0	15 (10~17)	0	
			並	ヒノキ	28 (24~33)	0	(0~0)		21 (18~23)	1	24 (18~33)	0	
	20~28	3.65	並	スギ	10 (9~12)	0	10 (10~10)	0	11 (11~12)	0	10 (9~12)	△1	
		4.00	並		10 (10~12)	0	10 (10~10)	0	11 (11~12)	△1	11 (10~12)	0	
		4.00	並		9 (8~11)	0	(0~0)		9 (8~9)	0	9 (8~11)	0	
		1.80	並	アカマツ	6 (5~8)	0	(0~0)		6 (5~7)	△1	6 (5~8)	0	
	外	30以上	10.00	並	米ツガ	(0~0)		(0~0)		28 (28~28)	△1	28 (28~28)	△1
			並	米マツ	32 (32~32)	0	31 (31~31)	0	29 (28~29)	1	30 (28~32)	0	
28以下		3.80	並	エゾマツ	(0~0)		(0~0)		27 (26~28)	△1	27 (26~28)	△1	
		4.00	並	ベニマツ	(0~0)		(0~0)		33 (26~40)	△1	33 (26~40)	△1	
パルプ用材	-	-	並	マツ	6 (6~6)		(0~0)		5 (5~5)	0	6 (5~6)	1	
			並	広葉樹	9 (9~9)		(0~0)		7 (7~7)	0	8 (7~9)	1	

八月の原木市場への入荷状況は、前月比四割増(前年比一割減)の一八、七〇〇立方メートルとなっている。
 販売量については、前月比四割増(前年比三割減)の一八、九五立方メートルとなっている。
 九月の価格については保合いとなっている。

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	7 (6~8)	0	7 (6~9)	0
	13~14		並	カラマツ	10 (9~12)	0	8 (7~8)	0
	16以上		並	カラマツ	13 (12~13)	0	10 (9~11)	0

- 注) 1. 前月差の△印は値下りを示す。
- 2. () 内は各地域の価格幅、() 外は各地域の平均価格を示す。
- 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。
- 4. 各地域の価格について、異常値が生じた場合には県平均算出から除く場合がある。

飯豊連峰と磐梯山に囲まれた会津盆地は、昼と夜の寒暖差が大きく、山間部の空気が澄んでいる土地である。

十月から十一月にかけて会津地方各地で新そば祭りが開催されています。山都から始まり、高郷、強清水、坂下、猪苗代、大塩高原と続き、最後に塩川で終わります。(その他まだまだたくさんありますが、行数の都合上割愛させていただきます。)

蕎麦はお腹に溜まらないので朝食抜き&お昼がつりの私にはちよつとも足りなさを感じるところもあるのですが、会津の蕎麦はそば粉一〇〇割、のどごしが良くて抜群なので、毎年この時期はどこかのお祭に出没し、新そばを楽しんでいます。トータル六年半も会津で過ごし、この有名な「会津の蕎麦」のことをあまり知らなかったもので、今さらでちよつと恥ずかしいのですが、グループで学習して(ググって)みました。

今年も新そばの季節がやってきました。十月から十一月にかけて会津地方各地で新そば祭りが開催されています。山都から始まり、高郷、強清水、坂下、猪苗代、大塩高原と続き、最後に塩川で終わります。(その他まだまだたくさんありますが、行数の都合上割愛させていただきます。)

蕎麦はお腹に溜まらないので朝食抜き&お昼がつりの私にはちよつとも足りなさを感じるところもあるのですが、会津の蕎麦はそば粉一〇〇割、のどごしが良くて抜群なので、毎年この時期はどこかのお祭に出没し、新そばを楽しんでいます。トータル六年半も会津で過ごし、この有名な「会津の蕎麦」のことをあまり知らなかったもので、今さらでちよつと恥ずかしいのですが、グループで学習して(ググって)みました。

今年も新そばの季節がやってきました。

十月から十一月にかけて会津地方



「会津の蕎麦」

会津農林事務所 松岡 武史

ることから最適な蕎麦が育つ環境といわれています。蕎麦という米が生産できない寒冷地の代用食と思われがちですが、会津の場合は実に米どころ。むしろ代用というよりお祝いの席のご馳走として振る舞われてきた文化がありました。実に贅沢ですね。会津の蕎麦(喜多方市)もいろいろ種類があつて、雄国そば、ひめさゆりそば、高遠そば、雷神そばなど地域ごとにさまざまな味や食べ方が楽しめます。

こんな話を執筆していたら無性に食べたくなってきたので、今度山都の宮古のそば集落で新そばを味わってきたいと思えます。皆さんもこの時期、会津に来て旬な蕎麦の味をご賞味してみたいいかがでしょうか。



イマイチしっかりこない標語

表紙の写真



「大きく育ってね」

第13回ふくしま森林・林業写真コンクールで優秀賞を受賞した長谷川錦治さんの作品。撮影場所：いわき市フラワーセンター

はなしのひろば

除夜の鐘

冬木立は、風雪をうけても厳然と立っている。吾妻連峰の稜線が、冬の淡い夕日にのびやかな美しいシルエットを見せている。今の時分、何となく心せわしく、そんな日常の光景も、注意深く心にとめないと見過ごしてしまいうようになる。そして、暦の大雪を過ぎると師走の日々はまっしぐらに年の瀬へと向かう。

息せき切ってかけ抜けていく年の暮れだが、それを落ち着かせくれるのが「除夜の鐘の音」である。鑄造工学の石野亨さんは、日本の文化をさぐる④「鐘をつくる」で「生まれたばかりの幼年期の鐘は鑄造ひずみのため音色があまりよくない。何万回と撞いている内に本来の音色になり壮年期に入る。やがて音色が濁ってくる」と老年期。鐘にも人生がある」と。年が改まると「鐘」もひとつ年を重ねていくことになる。

西洋の鐘は、スズの含有量が高く、金属で打つから澄んでかん高い音がするが、東洋の鐘は、銅とスズの合金で幾分材質が柔らかく、木で打つから音が重く、余韻がある。

「除夜の鐘」は、一〇八回撞かれるが、その数は、煩惱の数とも一年を表す数（月の数12 二十四節気24 七十二候72を足す）ともいわれる。また、鐘の回りにある突起は「乳（ち）」と言われこの数も一〇八らしい。深夜、冬の冷気を伝わってくる「除夜の鐘の音」は、静寂の中、心に染み入るように響いてくる。年が改まる時である。

（都）

編集

福島県内四森林管理署

福島県森林・林業・緑化協会

福島県森林組合連合会

福島県木材協同組合連合会

福島県農林種苗農業協同組合

ふくしま緑の森づくり公社

森林総合研究所福島水源林整備事務所

福島県森林・林業・緑化協会

（福島市中町五番一八号県林業会館内）

相馬 雅俊

発行人

陽光社印刷株式会社

（定価 一〇八円）

お知らせコーナー

苗木のホームステイがスタートしました

福島県農林水産部全国植樹祭推進室

第69回全国植樹祭では、県内外からの招待者6,000人が記念植樹を行います。その苗木を、県内の企業やご家庭の皆様に育てていただく「苗木のホームステイ」が11月にスタートしました。

県内163箇所、クロマツ、アカマツの苗木11,800本を育てていただきます。平成30年春まで、どうぞよろしくお願いいたします。



スタートセレモニーの様子



ご家庭での取り組みの様子

備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



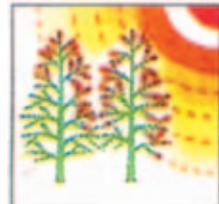
3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

◆福島県森林組合連合会
TEL024-523-0255(代)

または最寄りの森林組合

イワフジのプロセッサ

GP-45V グラップルプロセッサ

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

シンプルと耐久性を追及したプロセッサ

- 高耐久性を追及したフレームとトンク
- 全旋回を無くしたシンプル設計
- カッタ保持はシンプルなスプリング式
- 強力な油圧モータおよび保持力によるパワフルな送材力
- 大きなトンクによる効率的なグラップル作業
- 皮剥けを防止するガイドローラ付トンク
- 高速コンピュータGP-7による精度の高い安定した測尺
- 手元のノブスイッチで全ての操作が可能

Simple Processor
MODEL : GP- 45V

イワフジ工業株式会社

www.iwafuji.co.jp

北関東支店 〒963-8052 福島県郡山市八山田 5-314
TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168

林業機械の総合メーカー

- ・ハーベスタシリーズ
- ・フォワーダシリーズ
- ・グラップルシリーズ
- ・プロセッサシリーズ
- ・スイングヤーダシリーズ
- ・ラジキャリアシリーズ
- ・木寄せウインチシリーズ

イワフジが開催する「高性能林業機械のメンテナンス研修」受講生募集中!

自然との調和

私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。
皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

野生獣類から大切な 植栽木を守る

ヤシマレント

ヤマビル対策に

マリックスター(駆除剤)

蜂さされ防止

ハチノックL(巣退治)
ハチノックS(携帯用)

タケを駆除する

クロレートS

大切な日本の松を守る 住化グリーン®の林業薬剤

ヤシマスミバイン乳剤
ヤシマスミバインMC
グリーンガードNEO
パークサイドF
ヤシマNCS
モリエートマイクロカプセル
マツグリーン液剤2
マッケンジー

くん蒸用生分解性シート

与作シート(茶・白)
(折りたたみ式
専用キャリーバック使用)

竹・ササの防除に

クロレートS粒剤

アメシロなどの 害虫防除殺虫剤

打ち込み上手



住化グリーン株式会社

本社 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町1番8号 TEL.03-6837-9422 FAX.03-6837-9423

効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

機器はゼノアから

チッパシュレッダ



最大処理径
200mm

竹もOK!

SR3100

出力 18.4kW (質量1,330kg)

水冷ディーゼル

967634301

¥3,580,000(税抜)

ハンマナイフモア



ZHM1550

出力 27.5kW (質量1600kg)

967081901

¥5,860,000(税抜)



ZHM800

出力 7.4kW (質量230kg)

967088901

¥748,000(税抜)

ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店

(有)うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1